



研究	2019年度の研究テーマ
<p>今年度、構造研究グループでは以下の研究課題に取り組みます。有益な成果を創出できるようグループ丸となって取り組みますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。</p> <p>【受託研究】1) 港湾コンクリート構造物の補修技術の高度化に関する検討（本省）、2) PC 栈橋上部工の維持管理手法に関する研究（中部局）、3) 港湾施設の効率的な維持管理に向けたモニタリング技術に関する検討（沖総局）、4) 四国の港湾における施設点検効率化検討（四国局）</p> <p>【特別研究】海洋コンクリート構造物の補修・補強技術の体系化</p> <p>【科研費】海洋コンクリート構造物における塩化物イオン供給メカニズムの解明（田中）</p> <p>【萌芽的研究】1) 水中ドローンと3次元データを活用した海洋構造物の点検診断に関する検討（野上）、2) 深海におけるインフラ構築への挑戦的研究（川端）</p>	

ひと	新しいメンバーが加わりました！
<p>6/1 から日本港湾コンサルタントの平川 恭奨（ヒラカワ キョウスケ）さんが依頼研修員として、構造研究グループに加わりました。</p> <p>【平川さんのプロフィール】出身：福岡県糟屋郡、誕生日：1991/5/28、血液型：AB 型、特技：卓球</p> <p>【抱負】建設コンサルタント業務では携わる機会の少ない計測や様々な実験を経験することで、コンクリート構造物や鋼材等に関する知見を広めていきたいと思っております！</p>	

出張	リプレイサブル栈橋上部工 載荷試験見学会
<p>5/9 に伏木富山港新港地区で行われたリプレイサブル栈橋上部工現地載荷試験の見学会に、加藤・田中が参加しました。リプレイサブル栈橋上部工は、日本埋立浚渫協会と旧構造強度研究室の共同研究において、平成19年度に開発された技術です。載荷試験は、リプレイサブル床版の構造性能を確認するために行われました。試験後には床版のリプレイス（取替え）が行われ、施工歩掛やリプレイサブル栈橋上部工特有の管理項目等について検討される予定とのことです。</p>	

出張	海外出張報告
<p>6/12にオランダのアムステルダムでRILEMのASRに関する試験規格(AAR-13)の提案に関する会合に出席してきました。本試験規格は日本発の試験であり、国立環境研究所の山田博士と共同で規格化を進めています。また、あわせてイギリスのインペリアルカレッジロンドン、フランスのIFSTTARの研究者と共同研究について議論してきました。（川端）</p>	

最新の成果発表

1)	池野勝哉, 岩波光保, 川端雄一郎, 加藤絵万: ダブルスクエア継手を有するPCa梁の曲げ耐荷特性に関する基礎的研究, 構造工学論文集, pp.40-51, 2019
2)	川端雄一郎, 小川彰一, 高橋晴香, 渡邊貞之: DEF 膨張に対する高炉スラグ微粉末の長期抑制効果, 第73回セメント技術大会講演要旨 2019, pp.262-263, 2019
3)	与那嶺一秀, 川端雄一郎, 小川彰一, 柴田真仁: DEFの生じたコンクリートに対する残存膨張性の評価方法の検討, 第73回セメント技術大会講演要旨 2019, pp.264-265, 2019
4)	小川彰一, 蔵永萌, 渡邊貞之, 川端雄一郎: 各種混合材置換したペースト試験体を用いたDEF抑制効果の検討, 第73回セメント技術大会講演要旨 2019, pp.266-267, 2019

メンバー

氏名	役職	メールアドレス	好きなおつまみ	今月のひと言
加藤 絵万	グループ長	katoh-e@	スモークレバー	湿気、嫌い
野上 周嗣	主任研究官	nogami-s852a@	出し巻き卵	もっと英語を勉強しておけばよかった...
川端 雄一郎	主任研究官	kawabata-y@	チーズ	マグロ前哨戦が始まります
田中 豊	研究官	tanaka-yu@	枝豆	思い立ったが吉日
平川 恭奨	依頼研修員	hirakawa-kyo@	ピザ	そろそろ体重を落としたい!!
山田 幸夫	契約職員	yamada-yu@	チーズタラ	目標 週1日休肝日

※ メールアドレスの@以降はp.mpat.go.jpです。